

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士専攻科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習				
科 目 名	病理学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)				
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年	教室名					
担 当 教 員	佐々木 政臣	実務経験とその関連資格								
《授業科目における学習内容》										
疫病の理解に不可欠な病理学の知識を学び、臨床へと繋げる										
《成績評価の方法と基準》										
毎回の授業終わりに授業内容の理解度を図ることを目的に演習として小テストを行い、総合評価のうちの10%分の平常点とし、出席点で20%、期末試験で70%として成績を出す。ただし、国家試験科目であるので試験素点で60点未満の場合は不可となる。										
《使用教材(教科書)及び参考図書》										
カラーで学べる病理学／ヌーヴェルヒロカワ										
《授業外における学習方法》										
授業に用いるテキストなどで予習を行い、ノートにより復習を行うこと										
《履修に当たっての留意点》										
新しい用語や概念が出てくるので、必要に応じて覚えていくこと。										
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容					
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	病理学とはどんな学問か、どう役立つかなどを理解する 医療における病理学の役割を学ぶ			教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと				
第2回 講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	病因と細胞傷害などを理解する どういったものが病因なのか、細胞傷害で何がおこるかなどについて学ぶ。			教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと				
第3回 講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	細胞、組織の傷害について理解する 変性、萎縮、肥大、過形成、化生などについて学ぶ。			教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと				
第4回 講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	修復と再生について理解する 創傷治癒、肉芽組織、纖維化、瘢痕などについて学ぶ。			教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと				
第5回 講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	循環障害について理解する 充血、うつ血、出欠、浮腫、梗塞などについて学ぶ			教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと
		ショック、高血圧などについて理解する ショックの分類、高血圧症の分類について学ぶ		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと
		代謝異常にについて理解する 糖尿病、糖原病、脂質異常症などについて学ぶ		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと
		タンパク質代謝異常、カルシウム代謝異常などを理解する アミロイドーシス、低タンパク血症、高血圧症、低血圧症などを学ぶ		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと
		老化について理解する 老化のメカニズム、老化がもたらる臓器の変化などを学ぶ		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと
		先天異常にについて理解する 先天性異常、染色体異常、遺伝子疾患などについて学ぶ		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと
		炎症について理解する 炎症性メディエーター、急性炎症、慢性炎症などについて学ぶ		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと
		感染症について理解する 細菌感染、ウィルス感染、真菌感染、原虫感染などについて学ぶ		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと
		自己免疫疾患について理解する 全身性エリテマドーデス、関節リウマチ、バセドウ病などについて学ぶ		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと
		腫瘍について理解する 腫瘍の分類などについて学ぶ		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと
		悪性腫瘍について理解する がんのメカニズム、腫瘍マーカー、腫瘍免疫などについて学ぶ		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士専攻科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習				
科 目 名	病理学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)				
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年	教室名					
担 当 教 員	佐々木 政臣	実務経験とその関連資格								
《授業科目における学習内容》										
疫病の理解に不可欠な病理学の知識を学び、臨床へと繋げる										
《成績評価の方法と基準》										
毎回の授業終わりに授業内容の理解度を図ることを目的に演習として小テストを行い、総合評価のうちの10%分の平常点とし、出席点で20%、期末試験で70%として成績を出す。ただし、国家試験科目であるので試験素点で60点未満の場合は不可となる。										
《使用教材(教科書)及び参考図書》										
カラーで学べる病理学／ヌーヴェルヒロカワ										
《授業外における学習方法》										
授業に用いるテキストなどで予習を行い、ノートにより復習を行うこと										
《履修に当たっての留意点》										
新しい用語や概念が出てくるので、必要に応じて覚えていくこと。										
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容					
第16回 講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	転移のメカニズムを説明することができる。 腫瘍の転移について学ぶ			教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと				
第17回 講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	代謝疾患について説明することができる。 代謝疾患について学ぶ			教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと				
第18回 講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	小児・老人の病理について説明することができる。 小児・老人の病理について学ぶ			教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと				
第19回 講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	消化器の病理について説明することができる。 消化器の病理について学ぶ			教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと				
第20回 講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	呼吸器の病理について説明することができる。 呼吸器の病理について学ぶ			教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	循環器の病理について説明することができる。 循環器の病理について学ぶ	教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと
第22回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	腎臓の病理について説明することができる。 腎臓の病理について学ぶ	教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	これまでの講義内容についての総復習と重要項目について説明することができる。 まとめ	教科書	授業予定の箇所を教科書で予習をしておくこと